

令和6年度 第3回 学校運営協議会 次第

令和7年2月10日（月） 13:55～16:00

泉小学校 家庭科室

司会：CS担当

開催要件確認

1 会長挨拶（会長）

2 校長挨拶（校長）

3 日程説明（主幹）

4 議長の選出

5 熟議

（1） 学校関係者評価の説明（主幹）

（2） 次年度の学校運営基本方針の提案・承認（校長）

（3） 学校運営協議会自己評価の報告（教頭）

（4） 「夢育やらまいか」について（教頭）

（5） 登下校時の課題対応について（校長）

6 連絡事項

○令和6年度CS活動の振り返り（CSコーディネーター）

○令和7年度学校運営協議会の予定について（教頭）

第3回 学校運営協議会名簿

学校運営協議会委員

会長	鈴木 章弘	すずき あきひろ
副会長	石塚 猛裕	いしづか たけひろ
委員	岩崎 まさの	いわさき まさの
委員	新村 友得	しんむら ともえ
委員	和田 円	わだ まどか (学校支援コーディネーター)
委員	石澤 光也	いしざわ みつや
委員	袴田 大介	はかまた だいすけ

オブザーバー

高台協働センター	河西 博昭	かわにし ひろあき
高台協働センター	鈴木 皓介	すずき こうすけ

学校支援コーディネーター

学校支援CD	黒田 裕美子	くろだ ゆみこ
学校支援CD	中川 もも子	なかがわ ももこ

学校

校長	中谷 哲久	なかや てつひさ
教頭	松井 康子	まつい やすこ
CS担当教職員	大石 晴子	おおいし はるこ
CSディレクター	倉本 久美子	くらもと くみこ

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子	すずき ようこ
-------	-------	---------

児童

保護者

職員

	R6年度	R6年度	R6年度	R6年度
人とかかわる子	1 あなたは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や先生に自分の言葉で説明したり、伝えたりしている。	84%	お子さんは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や教師に自分の言葉で説明したり、伝えたりすることができている。	71%
	2 あなたは、友達の思いや考えを大切にし、まずは受け止めることができる。 (あなたはともだちとなかよくし、ともだちのいけんもきいてあげている。)	94%	お子さんは、友達の思いや考えを大切にし、あたたかく受け止めることができている。	82%
自己を見つめる子	3 自分を知り、自分の課題や目標をもつ。	88%	お子さんは、課題や活動に対して自分の適性や役割を自覚し、自分なりに目標をもって、取り組んでいる。	76%
	4 個々にまた、協働しながら課題に進んで取り組み、解決する。	90%	お子さんは、課題を解決しようと、粘り強く努力したり、友達と協力したりしながら、進んで取り組んでいる。	74%
成長・未来につなげる子	5 活動を振り返り、自分の成長を確かめる。	91%	お子さんは、学習のまとめや活動を振り返って、分かるようになったことやできるようになったことなど、自分の成長を感じることがあった。	79%
	6 子供が楽しく通える学校	88%	お子さんは、学校に行くことを楽しいと思っている。	83%
目指す学校像	7 安心・安全で保護者や地域に信頼される学校	93%	学校は、担任はじめ養護教諭やSC(スクール・カウンセラー)やSSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)等も含めて教育相談を行いやすい体制整備がなされている。	78%
	8 教職員が心身ともに健康で生き生きと働く学校		職場は、(忙しい毎日ではあるが、)自分の努力や周囲の支えにより、心身ともに健康で生き生きと働ける場所になっている。	68%
家庭地域との連携	9 ボランティアやコミスクとの連携	94%	保護者として、コミュニティ・スクールの一員となり、積極的にPTA活動に取り組んだり、授業や活動に講師やボランティアとして参加したりして、子供たちの活動や学びのために協働している。	59%
	10 キャリア教育の推進		学校は、子供自身の学びを社会や将来とつなぐキャリア教育を推進するために、積極的に地域人材を募り、活用する授業を実施している。	77%
			子供たちは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や教師に自分の言葉で説明したり、伝えたりすることができている。	73%
			子供たちは、友達の思いや考えを大切にし、あたたかく受け止めることができている。	75%
			子供たちは、課題や活動に対して自分の適性や役割を自覚し、自分なりに目標をもって、取り組んでいる。	76%
			子供たちは、課題を解決しようと、粘り強く努力したり、友達と協力したりしながら、進んで取り組んでいる。	76%
			子供たちは、学習のまとめや活動を振り返って、自分の成長を感じることがあった。	78%
			子供たちは、学校に行くことを楽しいと思っている。	81%
			保護者や子供に対して、通常の面談以外でも教育相談がいつでも行えるよう配慮し、誠実に対応している。	88%
			職場は、(忙しい毎日ではあるが、)自分の努力や周囲の支えにより、心身ともに健康で生き生きと働ける場所になっている。	68%
			子供たちの活動や学びのために来校したボランティアや講師の方と子供たちがどのようにかわるとより効果的か考え、子供たちに指導助言することができた。	85%
			キャリア教育を推進するために、日々の学習や生活の中で子供たちの頑張りを良さを認め、それを伝えることができた。	83%

成果

○項目1「自分の言葉で思いや考えを伝える」

職員評価 R5年度 57% → R6年度 73%に上昇 

- ・子供たちが安心して自分の考えや思いを言える環境づくりを推進
- ・担任はじめ職員が「人とあたたかく関わる子」を日頃から意識して指導してきた成果

○児童の評価は 84%～94%と、それぞれの項目で数値が高い。学校生活において達成度、満足度が高いことが分かる。

○項目6「学校に行くのが楽しい」

児童評価 88% 保護者評価 83% 職員評価81%

- ・学校が楽しい場所になっていると8割以上の児童、保護者、職員が感じている。

○項目 9,10 ボランティアやコミスクとの連携により子供たちの学びが充実したものになっている。

児童評価 94% 職員評価 85%

課題

○項目3「自分の課題や目標をもつ」

児童評価 R5年度 95% → R6年度 88%に下落 

- ・課題や活動に対して、児童自身が目標をもって取り組もうとする意欲を湧きたたせたい。

○「教育相談をしやすい体制、整備がされている」

保護者評価 R5年度 92% → R6年度 78%に下落 

- ・「どこに相談してよいか分からない。」「相談できる場所やどんな対応をしてくれるのかを明確にしてほしい。」「苦しいときに行ける場所がほしい。」
- ・人や場所がない現状である。

○「心身ともに健康で生き生きと働ける職場である」

職員評価 R5年度 93% → R6年度 68%に下落 

- ・配慮を要する子の対応、各種会議、学級事務、分掌業務、生徒指導、保護者対応、教材研究

いじめの現状について

いじめの定義

「一定の人的関係にある」

「心理的又は物理的な影響を与える行為」

「行為の対象となった子供が心身の苦痛を感じている」

本年度の1月末現在の泉小のいじめの認知件数「162件」登校日が166日。平均すると登校日数とほぼ同じ数値。

- ・児童本人や保護者からの連絡
- ・年3回、紙でアンケート
- ・年3回、タブレットでアンケートに答え、市に提出

アンケート結果や連絡をもとに子供と面談。小さなことでも気になったことはすぐに学年で共有したり、臨時のいじめ対策委員会を開き解決策を話し合ったりする。また、心のケアのためにスクールカウンセラーに相談することもある。

来年度の改善点・手立て

○一人一人が輝く 楽しい学校

○個に寄り添い 共に高める

上記の目標を目指して、教育課程の改善を図る。

【学習面 主体的な学びができる子・・・授業改善】

「学習に前向きに取り組むことや学習課題をつかみ、粘り強く取り組む」ことができる子を目指し、授業改善を行う。

- ・興味関心を高める（知的好奇心 疑問 感動・・・）
- ・見通しがもてる（目標 ねらい めあて 仮説 計画 方法・・・）
- ・自分と結び付ける（生活と 社会と 将来と 自分事として・・・）
- ・粘り強く取り組む（試行錯誤 別の解決策 最後まで 友達 ICT・・・）
- ・振り返って次につなげる（学びを表す 身に付けた力に気付く 新たな見通し・・・）

重点①学びたくなる単元・題材・教材の設定

（学年で教材研究⇒授業を見合う⇒事後反省⇒次のクラスに生かす。）

重点②粘り強く取り組むための指導方法の工夫

（考える時間の確保 話合いの視点 情報活用 振り返りのさせ方）

【自分も友達も大切にする子・・・道徳教育、特別活動の充実】

- ・道徳科では「自分事」として捉え、様々な価値に気付かせる。友達の意見を聞き、その考えや思いも大切にする。
- ・特別活動では、「目的」を知り、自分なりの「目標」を立てて活動に取り組ませる。協力することの大切さも活動を通して体感させていく。同学年、異学年交流・・・

【子供の安全を守る・・・7. 9月はサマータイム日課に】

ロング（40 分間）の昼休みが週3日。残りの2日は15 分間の昼休みの後に掃除を設定している。昼休みは、子供たちがひと、もの、ことに出会うとても良い時間。6年生は委員会活動を行うこともある。多くの子は運動場で遊んだり、活動したりしている。

しかし、熱中症指数が高く、警報レベルを超えると、外出禁止で子供たちの不満、けがやトラブルが多くなった。



来年度は週3日、ロングの昼休みの10分間を帰りの会にして、下校時刻を10分早める。

- ・子供たちのけがやトラブルを減らす。
- ・放課後の時間が10分長くなる。週に30分間、担任業務や教材研究、分掌業務の時間に充てる。

通常日課

サマータイム日課（7,9月のみ）

（月・水・金）昼休み 40 分間 ⇒ 昼休み 30 分間 + 帰りの会 10 分間 ⇒ 下校時刻を 10 分早める
（けがやトラブルを減らす） （放課後の10分間を有効活用）

【保護者の負担軽減・・・参観会を4月・10月・2月に】

参観会は、子供たちの頑張る様子を見ていただく良い機会。

多くの保護者が仕事をもち、共働きをする家庭も増加。保護者アンケートにも「学校に行くために仕事を休まなくてはならない。学校へ行くことを減らしてほしい」という意見。

4月・・・入学式、参観会、学校説明会、三者面談（全員）

5月・・・運動会

6月・・・参観会 ➡ R7年度 なしに

7月・・・三者面談（全員）

10月・・・参観会・担任よりお知らせする会

12月・・・三者面談（希望）、学習発表会

2月・・・参観会・担任よりお知らせする会

※4月の学校説明会は、学校の考えや方針を伝える大切な場として実施する。

※4月の三者面談は、保護者の思いや家庭の教育方針を聞いたり、担任の思いや学級運営方針を伝えたりして、信頼関係を築くために全員面談とする。

※12月の学習発表会は、学習の成果を発表する場として重要であるため、開催していく。

【子供の体調を考慮・・・運動会の開会式はテント内で、閉会式は教室で】

暑さ対策のためテントを用意。途中、熱中症になる児童もなく、午前中の競技が最後までできた。閉会式は、運動場に集まって行う予定だったが、子供たちの健康に配慮してテントの中で閉会式を行った。



来年度も暑い中での運動会。すべての競技が終わった後、教室に戻ることにする。給食後5時間目にクーラーの効いた涼しい教室で、テレビ放送にて閉会式を行い、そのあと個人で運動会の振り返りを行う。

【保護者が安心・・・相談のしやすい学校体制】

保護者からの相談は、より詳しく丁寧に聞き取り、いち早く校内で共有する。場合によっては関係機関に連絡し、保護者に情報を伝えていく。担任は保護者と気軽に話せるよう日頃から連絡を密に取り合うようにしていく。三者面談を年3回設定しているが、この機会のみとせず、連絡帳や電話連絡、家庭訪問等で悩みを聞き、対応を考えていく体制を整える。

【いじめ対策・・・あたたかい人間関係をつくる活動を充実させる】

- ・毎日帰りの会で「良いこと見つけ」ペアで 一人に対してみんなで
- ・毎週水曜日の朝活動の10分間「人間関係づくり」の時間（学級レクや話を通したふれ合い活動が展開）
- ・毎月10日前後に「HEROの日」がある。泉小を「いじめのない学校にするために、一人一人が行動を変えていく」という取組。あたたかい人間関係づくりのために自分ができることを考え、評価する。HERO宣言やHEROとなった人は昼の放送で紹介もする。
- ・保健室前の廊下には相談ポストを設置して悩みをもつ子に対応できるようにしている。

いじめはどこの学校でも起こりうる。大切なのは、「いじめを見逃さないこと」

小さな出来事が、やがてその子にとって大きな不安にならないように職員、お家の方、地域みんなで、できるだけ早く気付いていくことが大切。

第4次浜松市
総合教育計画
未来創造への
人づくり
市民協働による
人づくり

学校教育目標

一人一人が輝く 楽しい学校

北部中・高台中
学校区との連携

子供が楽しく
通える学校

安心・安全で保護者や
地域に信頼される学校

目指す子供の姿

自己を見つめる子

- 自分を知り、自分の課題や目標をもつ

課題を解決する子

- 個々に、また、協働しながら課題に進んで取り組み、解決する

成長・未来につなげる子

- 活動を振り返り、自分の成長を確認する

人とあたたかくかかわる子

- 自分の言葉で思いや考えを伝える
- 友達の思いや考えを大切にし、受け止める

主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善

- 校内研修の推進
 - ・基礎学力の定着
 - ・(研修主題の具現化に向けての)授業研修の充実
- ICTの効果的な活用
- UD支援・キャリア教育の普遍化

目指す 教師の姿

個に寄り添い
共に高める

生徒指導

- 「報連相」の徹底、情報共有による組織的対応
- いじめ・問題行動の「未然防止」指導
- いじめ対策会議・ケース会議の適切な運用

発達支援

- 児童一人一人の特性を把握した合理的配慮
- OSC、SSW等、関係機関との連携

組織力向上

- 教師間での学び合いの充実
- 全教職員による情報共有の徹底

道徳教育の推進

学校と地域が一体となって心身ともに健やかな 子供を育てる「ファミリー泉」の構築

- 学校運営協議会
- 地域との連携
- 三者面談、教育相談
- ボランティアとの連携(学習支援、見守り、図書ボランティア等)
- 家庭学習カードや連絡帳などを通じた連携
- 学校HP、さくら連絡網を活用した情報公開
- 学校・学年だより、ブログ等での発信

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表(案)

浜松市立(泉小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校の実態や児童の様子を知り、各々の役割を理解し、それぞれの専門性を生かしながら学校を支援しよう。
- 承認した学校運営の基本方針を、学校運営協議会からも発信・周知し、学校教育目標の具現化に向けた学校支援活動を充実させよう。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長による説明を受け、学校教育目標「一人一人が輝く楽しい学校」の実現のためにキャリア教育を核として教育活動を進めていくことについて行った熟議では、委員が率直に意見を述べることができ、共通理解することができた。
- 「人とあたたかくかかわる子」の育成に重点を置き、学校経営目標である「一人一人にとことん寄り添う」を実践することがいじめ問題の解決にもつながるという方向性を共有することができた。
- 学校経営目標についての熟議を通して「一人一人にとことん寄り添う」ためには、学校と地域の連携が不可欠であることを協議会全体で認識することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- いじめ問題解決への取組や個別登校の試行について、それぞれの立場から意見を出し合って熟議を進めることができ、共有・理解につなげることができた。出された意見を基にした取組を学校が進めてほしいと思う。学校運営協議会も支援ができるように、さらに熟議を深めていきたいと思う。
- 挨拶運動について学校と地域が一体となって進め、「共創」の一つとして定着してきた。その一方で、回数を重ねると始めたころのような勢いがなく、形骸化している部分もやや感じられる。
- 学校からのニーズに対応できるように、支援人材の輪の広げ方について考えていきたいと思う。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 挨拶運動に関しては、児童が作成したポスターを町内に掲示したり、挨拶運動実施お知らせの文書を回覧板や自治会のホームページや役員会の場を活用したりして、情報発信を充実させることができた。さらなる効果的な発信方法の検討も必要である。
- 協議内容について学校HPでアップしているが、学校と地域が一体となって風通しのよい学校運営を可能にするには、一般に広く周知する方法を検討する必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 「一人一人が輝く楽しい学校」「子供が楽しく通える学校」「安心・安全で保護者や地域に信頼される学校」の実現に向けて、地域と学校が一体となって子供を育てよう。
- 学校や児童の実態や課題を知り、学校教育目標の具現化に向けて積極的に協議し、広く地域に発信しよう。

(様式1)

令和6年5月8日

浜松市立泉小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 石塚 猛裕 様

浜松市立泉小学校運営協議会
会長 鈴木 章弘

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和6年5月7日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 「一人一人に とことん 寄り添う」をキーワードとした教育を進めるべきである。
⇒ 地域の方を中心とした「CSボランティア」の活動を充実させ、地域連携を深めることで、児童のニーズに手厚く応える学習環境を構築する。
- ② 泉小学校ならではの教育活動を充実させたい。
⇒ 泉小学校の伝統となっている「栽培活動」を継続して行い、心安らぐ美しい学校づくりに自ら関わることで、児童の豊かな心情を育てる。



泉の子

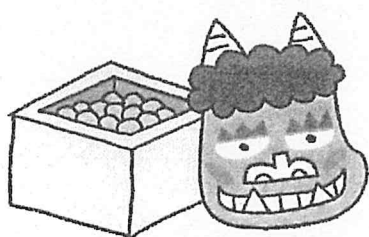
令和7年 1月29日
泉小学校
学校便り 第12号



この冬は、季節外れの暖かい日が多くなっています。感染症の流行が心配される季節でもあります。各御家庭の御協力のおかげで、今のところ、インフルエンザやコロナウィルス感染症の広がりは見られず、子供たちは、休みに運動場に飛び出し、元気いっぱい体を動かしています。



さて、暦の上では立春を迎え、季節は春へと移っていきます。また、立春の前日は節分です。節分は、立春、立夏、立秋、立冬の前日のことを言いますが、江戸時代以降、昔の暦の新年にあたる立春が重要視されてきたそうです。そして、節分といえば豆まきです。豆や穀物には生命力や魔除けの力があるとされ、その豆を鬼の目にぶつけることで、鬼を滅し、邪気を払い、無病息災を願うとされてきました。



節分という季節の変わり目を感じることで、子供たちが残り2か月を、どのように過ごしていくのかを考える機会とし、進級・進学を意識させた毎日を送らせていきたいと思っています。引き続き、御支援・御協力をお願いいたします。



個別登校試行のお知らせ

昨年から行っている個別登校ですが、来月上旬に1週間の予定で試行を行います。先月には、個別登校について保護者の皆様にアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。その結果は、

「**集団登校がよい25%**」

「**個別登校がよい40%**」

「**集団登校と個別登校の組み合わせがよい35%**」

ということでした。また、それぞれの良さ、課題についても多くの御意見をいただきました。来年度すぐに個別登校に移行するものではありませんが、この結果を参考にしながら、学校・保護者・地域の皆さんで、安全な登下校の在り方を、時間をかけて検討していこうと思います。



2月の施行にあたっては、子供たちに、交通ルールを守りながら歩くように、また、下校の仕方も同じであるということを伝えました。朝のお忙しい時間ではありますが、少しの時間でも、子供たちの登校する様子を見ていただけるとありがたいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

個別登校試行期間 2月3日(月)～2月7日(金)

令和7年度 学校運営協議会 年間計画（案）

第1回	令和7年5月8日（木） 13:30 ～15:30	13:30～13:55 授業参観（各クラス自由参観） 14:00～（家庭科室） 1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 任命書の伝達 4 熟議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 学校いじめ基本方針について (3) 夢育やらまいかCS加算分に対する意見書について (4) 学校運営協議会 今年度の目標決定
第2回	令和7年10月3日（金） 13:30 ～15:30	13:30～13:55 授業参観（各クラス自由参観） 14:00～（家庭科室） 1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 学校の現状について 4 熟議 (1) 支援策の具現化について (2) 今後の活動について
第3回	令和8年2月10日（火） 13:30 ～15:30	13:30～13:55 授業参観（各クラス自由参観） 14:00～（家庭科室） 1 会長挨拶 2 校長挨拶 3 学校の現状について 4 熟議 (1) 学校関係者評価について (2) 次年度の学校運営の基本方針について (3) 学校運営協議会の自己評価 (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告